



『地と図』

明けましておめでとうございます。新しい年にたくさんワクワクすることがありますように、と思います。

少し難しいのですが『地と図』の話をしたと思います。Aの絵は何に見えますか。黒いところを『図』→絵として描かれているものとするなら壺に見えます。でも、もう一つ『図』として見えるものがあります。それは白い部分です。

A



と、今この文章を読んでいる人はここまで読んでも一度黒いところの図に目がいってしまうと、なかなか白い部分に目がいかなくなります。

では、もう一枚の絵Bです。この絵はヨーロッパの若い貴婦人が毛皮のストールをして帽子をかぶっている横顔に見えます。もう一つは老婆の横顔にも見えます。（見えませんか？）

B



このように、私たちは一度見たものの見方を変えて『図』とその背景の『地』を入れ替えるということがとても難しいのです。

日々の生活の中でこのようなものの見方はたくさんあります。自分が決めつけている事を『図』とすると周りの状況は『地』となります。

『地と図』の関係を時々入れ替えてみると見えてくるものは全く変わってきます。そのためには、心の中で起こっている出来事『図』から少し離れて周りの状況『地』を俯瞰（鳥のような空からの視点）してみませんか？心を占めていた出来事の新しい『図』が見えてきて少し楽になるかもしれません。

ちなみにAの絵のもう一つの『図』（白い部分）は向かい合う人の横顔です。

スクールライフアドバイザー来校日（相談時間 10:00～16:45）

1/10（金） 1/17（金） 1/24（金） 1/31（金）



☎ 電話による相談もできます。教育相談室直通の電話（青年期の探究の最後のページに記載しています）を利用してください。